



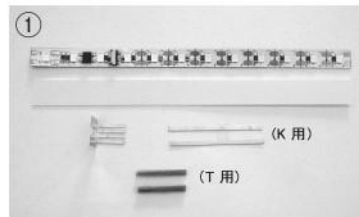
# グランライトプレミアム GlanzLight Premium

LED 室内灯キット 白色 / ナチュラルホワイト色 / 電球色 共通

最大消費電流 (1両あたり) : 20mA (H側)、12mA (L側)

## ■ セット内容 (1両分)

室内灯ユニット	1	(共通)
プラ板	1	
電極板	1	] (K用)
集電シュー	2	
集電スプリング	2	(T用)

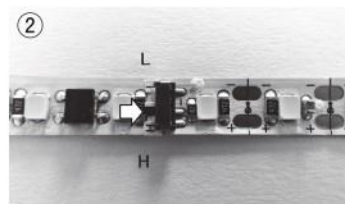


## ■ 使用上の注意

- \*この説明書は、鉄道模型のN(9mm)ゲージの車両用に作成しています。
- 16番(HO、16.5mm)ゲージ等の車両でも応用して使用できますが、取り付け方法などは異なります。
- \*使用時の電圧は、必ず12V以下にしてください。
- \*室内灯の明かりが一定に保たれない(ちらつくなどの)場合は、車両やレールのメンテナンスを行ってください。

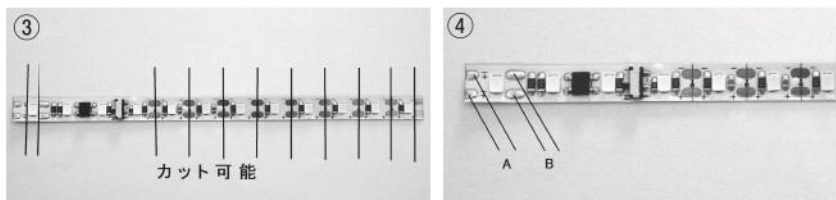
## ■ 照度切替 [図②]

- \*LEDの照度を2段階に切り替えることができます。
- \*H側：高照度(昼間の走行に適しています)
- L側：低照度(夜間走行に適しています)
- \*楊枝などでノブをスライドして切り替えます。(工場出荷時はH)

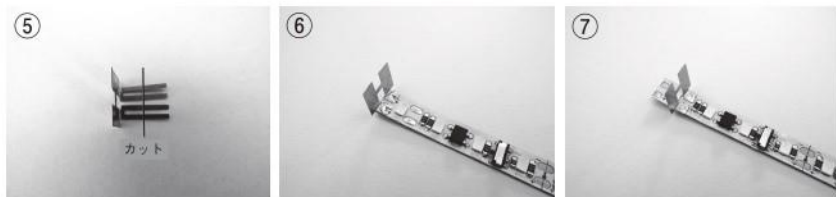


## ■ KATOの車両に取り付け (K用パーツ使用)

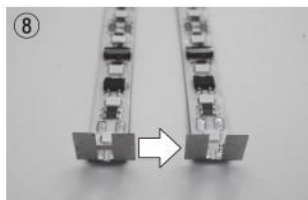
1. 取り付ける車両の長さに、室内灯ユニット137.5mm(LED12個)が適合するか確認します。車両より長い場合、[図③]の右から順に、カット可能位置にて長さを調整します。
2. 電極板を室内灯ユニットの先端の端子Aにハンダ付けします。位置は、取り付ける車両により異なります。車両の集電シューの位置が中寄りの場合で、車端まで点灯させたい時は、端子Bにハンダ付けします。[図④]両端に窓がある通勤形車両にも最適です。



3. 電極板を集電シューの位置に合わせてカットしてハンダ付けします。[図⑤・⑥・⑦]

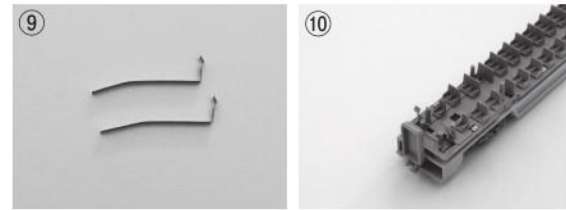


4. ハンダ付け終了後に、電極板の真ん中の部分で、+を繋いでいる箇所を、(ニッパーなどで)カットします。[図⑧]

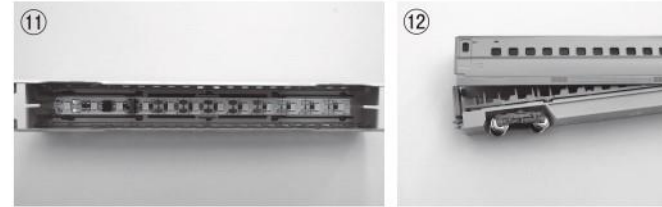


★電極板のカットを行わずに、そのまま使用すると、短絡(ショート)して、電源装置や車両の破損、配線からの発煙・発火の恐れがありますので、必ずカットしてください。

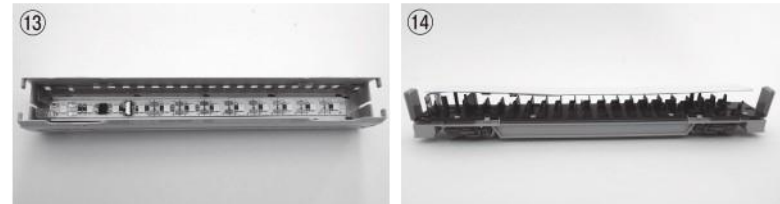
5. 集電シューをラジオペンチなどを使って図⑨のように折り曲げます。
6. 集電シューを車両の該当部分へ押し込みます。[図⑩]



7. 室内灯ユニットに取り付けた電極板と、車両床下側の集電シューが一致する位置の屋根裏に貼ります。[図⑪]
8. 電極板と集電シューが接触するように、車体と床下を合わせます。うまく接触しない場合は、電極板や集電シューの位置を調整してから合わせます。[図⑫]



9. またプラ板に貼って車両の屋根裏に貼る [図⑬] か床下にセットしても可。[図⑭]



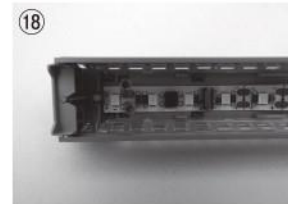
※動力車に取り付けの場合、電極板の先を2~3mmカットし、動力ユニットに当たらないようにしてください。

## ■ TOMIX/MICRO ACEの車両に取り付け (T用パーツ使用)

1. 取り付ける車両の屋根裏の集電スプリングの位置 [図⑮] に、室内灯ユニットの端子Aまたは端子B [図④] に合わせて室内灯ユニットのカット可能位置にて長さを調整します。[図③]
2. 集電スプリング位置より車端まで点灯させたい時は、端子Bを使用します。
3. 端子AかBにスプリングをハンダ付けします。[図⑯・⑰]



4. 室内灯ユニットをスプリングの位置を集電部分に合わせて屋根裏に貼ります。[図⑱]



5. 集電スプリングが床下の集電の穴に入るよう車体と床下を合わせます。
6. またプラ板に貼って床下の集電口にセットしても可。[図⑲]



※車両の構造により取り付けできない場合や、光が遮断されて均一に点灯できない場合がありますのでご了承ください。  
※製品の改善により、仕様および外観を予告なく変更することがあります。

製造販売元 **庄龍鉄道** TEL : 050-7578-4131  
E-mail : zhuangsi@rd5.so-net.ne.jp  
〒115-0053 東京都北区赤羽台 1-5-6-1009 URL : http://zhuanglong.blog.so-net.ne.jp